

ブック等もあり、単独での企業内訓練校の存続は難しくなり、首都圏のいくつかの企業内訓練校を除き、地方都市の企業内訓練校は閉校、閉鎖、休眠といった道を選ばざるを得ない状況に陥りました。弊社の企業内訓練校も、同じような状況下にありましたが、昭和55年に広島県の髙・土工の専門工業者が集まり、任意団体「広島建設共同職業訓練協会」を発足させ、それが現在の(職)広島建設アカデミーとなっています。

アカデミーもここまで来るのに、紆余曲折、様々なことがありました。特にバブル経済崩壊後、建設需要の落ち込みにより、アカデミーの存続もさることながら、各社の経営も危機的状態にあり、若年層の育成どころ

# 魅力ある産業へ「子育て」

職業訓練法人 広島建設アカデミー

理事長 福井 正人

先日、都中建の皆様の前で話をさせていただく機会を頂きありがとうございます。我々のように、地方で、しかも専門工業者が集まった団体が、細々ではありますが、長年やってきた若年者育成に関して話をさせていただいたわけですが、首都圏の、しかも元請けの集まりである都中建のメンバーの方々は、滑稽に見えたかもしれませ

ん。

しかしながら、首都圏、地方に関係なく、我々の業界の抱える問題はほんの一部ではありますが、人材育成につき共通認識していただき、少しでもこの業界が良い方向に向かうよう切に願っております。

我々(職)広島建設アカデミーは、弊社(福井建設)の企業内訓練校の時代から考えますと、昭和45年の発足より、48年間の歴史があります。発足時の昭和40年代半ばには、全国で同様な企業内訓練校ができていたと聞いております。しかしながら、その後オイルシ

数を入職させることができる会社も稀です。今年一人は入れたけども、次に入れることができるとしたら5年後、という会社もあります。そういった状況のとき、若い子には会社に同期の人間がいない事になります。アカデミーのように多くの会社が集まって共同で訓練をすると、彼らには会社は違っても、アカデミーを通して同期の人間ができます。会社の中に同世代の仲間はいないが、同じ業界で働く仲間が、確実に近くにいる。これは今の若い世代の子達には非常に重要です。

今の若い子達は、バブル経済崩壊後に生まれた世代です。彼らの親は、バブル経済崩壊のあおりをモロに受けた世代であり、混迷す

る日本経済の中で、様々な価値観の変革を求められた世代であります。その世代の人間の子どもが、今後の日本の製造業を支えていく若年層であります。建設業も製造業の一つです。しかしながら建設業は他の製造業と比べ、末端の子達の雇用条件は著しく悪い。都市の形を変え、人の動きも変え、住む場所を造り、そこに笑顔が生まれる。我々の仕事はそういった仕事であり、今の日本は、先人の血と汗と努力と知恵で創られたものであるということは疑う余地もありません。しかし、それをなした人間の処遇が年々悪くなり、今の若年層の子達にとっては決して魅力的な産業には映っていないはずで、我々の産業は製造拠点を海外に移すことは不可能です。様々な技術革新により、必要人員を減らすことは可能でしょう。しかし、確実に施工現場に人間が必要です。確実に人間が必要産業であるのにもかかわらず、その処遇が良くないがために、若い子達には魅力的な産業として映ってはいないし、その子達の親にもわが子の将来を託せる産業にはなっていません。国交省、厚労省、更に業界団体は当然のこと、それに関係する各社がそのことを認識し、彼らの処遇の改善と確保と育成に対し、本気で取り組んでいかなければいけない時だと感じております。

この度、都中建様では共同で新入社員研修を始められました。最終日、私も見学させていただきました。その他にも、婚活パーティーを催されたりと、そこで働く子達の共通の問題点を、協会全体で認識され、それをスピーチに取り組みされている事に対して、敬意を表します。特に山口会長の指導力の下、幹部の方々、事務局も相当な御尽力が必要であつたらうと拝察いたします。

国交省、厚労省も建設産業の担い手確保のために様々な施策を試みてくださり、予算も過去に例のないほど付けてくださっております。しかし、それは逆に人材確保育成のブームを作り、煽っているようにも感じることがございます。例えばそれがブームであっても、今出来ることはしなければならぬと感じます。そして、それが落ち着いたときにふと我に返って、これはブームではなく子育てと同じなんだ！という事に皆が気付いてくれば、その時こそ建設業は魅力のある産業になっていると信じております。

か、その時雇用をしている人間を養うのにいっぱいの時もありました。そういった時期に、アカデミーも訓練形態を変え、新卒者の入職時における、安全教育と就業訓練(為、型枠大工、鉄筋等)に特化いたしました。アカデミーの会員企業の会員には、若い子達を育てるのは、あくまで各社です。特色ある、各社の色を持った職人には、各々の会社が責任を持って育ててください。アカデミーはそのお手伝いをさせていただきます。と説明いたします。学校を卒業してきた若い子達は、我々の現場で働くための共通の言語すら持ち合わせていません。工業高校の建築科を出た子でも、設計のことや構造計算のことは勉強していても、サポートやセパ、結束線やハンカチ等々、明日現場に出たらすぐに必要な言葉すらわかりません。そういった子達に、現場に出て、右往左往することのないよう、予備知識と予備技能を習得させます。

我々のような中小専門工事業者にあっては、毎年新入社員を入職させることができる会社は多くありません。さらには、複数人

先日、都中建の皆様の前で話をさせていただく機会を頂きありがとうございます。我々のように、地方で、しかも専門工業者が集まった団体が、細々ではありますが、長年やってきた若年者育成に関して話をさせていただいたわけですが、首都圏の、しかも元請けの集まりである都中建のメンバーの方々は、滑稽に見えたかもしれませ

ん。

しかしながら、首都圏、地方に関係なく、我々の業界の抱える問題はほんの一部ではありますが、人材育成につき共通認識していただき、少しでもこの業界が良い方向に向かうよう切に願っております。

我々(職)広島建設アカデミーは、弊社(福井建設)の企業内訓練校の時代から考えますと、昭和45年の発足より、48年間の歴史があります。発足時の昭和40年代半ばには、全国で同様な企業内訓練校ができていたと聞いております。しかしながら、その後オイルシ

## 中小の進路を開く一特例(寄稿)

先日、都中建の皆様の前で話をさせていただく機会を頂きありがとうございます。我々のように、地方で、しかも専門工業者が集まった団体が、細々ではありますが、長年やってきた若年者育成に関して話をさせていただいたわけですが、首都圏の、しかも元請けの集まりである都中建のメンバーの方々は、滑稽に見えたかもしれませ

ん。

しかしながら、首都圏、地方に関係なく、我々の業界の抱える問題はほんの一部ではありますが、人材育成につき共通認識していただき、少しでもこの業界が良い方向に向かうよう切に願っております。

我々(職)広島建設アカデミーは、弊社(福井建設)の企業内訓練校の時代から考えますと、昭和45年の発足より、48年間の歴史があります。発足時の昭和40年代半ばには、全国で同様な企業内訓練校ができていたと聞いております。しかしながら、その後オイルシ



株式会社 朝倉 泰成  
代表取締役 朝倉 泰成  
東京都多摩市落川1251  
電話 042-371-0881

株式会社 飛鳥 修平  
代表取締役 飛鳥 修平  
東京都中野区大和町1-15-3  
電話 03-5373-1711

足立建設工業株式会社  
代表取締役 足立 裕介  
東京都豊島区東池袋3-7-9  
電話 03-5957-3344

伊藤興業株式会社  
代表取締役 伊藤 武司  
東京都豊島区雑司が谷1-53-2  
電話 03-3983-9675

岩井建設株式会社  
代表取締役 岩井 良夫  
東京都文京区小石川1-13-11  
電話 03-3815-8911

岩浪建設株式会社  
代表取締役会長 岩浪 勝二  
代表取締役社長 岩浪 岳史  
東京都青海市長淵7-318  
電話 0428-22-6241

株式会社 上之原工務店  
代表取締役 上之原 一光  
東京都文京区千駄木2-42-8  
電話 03-3824-6171

株式会社 榎木工業  
代表取締役 榎森 厚志  
東京都奥多摩町水川1165  
電話 0428-83-2544

SMCシビルテクノス株式会社  
代表取締役 田中 正則  
東京都新宿区市谷本村町1-1  
住友市ヶ谷ビル7階  
電話 03-3268-8800

株式会社 河津建設  
代表取締役 河津 修平  
東京都大田区東嶺町30-17  
電話 03-3750-1617

株式会社 島田 弘道  
代表取締役 島田 弘道  
東京都羽村市神明台2-4-39  
電話 042-578-2111

株式会社 セイシン  
代表取締役 水野 成則  
東京都練馬区高野台2-4-7  
電話 03-3997-7567

成友興業株式会社  
代表取締役 細沼 順人  
東京都あきる野市草花1141-1  
電話 042-558-4111

東峰建設株式会社  
代表取締役 堀田 秀一  
東京都北区西ヶ原4-40-10  
電話 03-3915-0269

徳力建設工業株式会社  
代表取締役 鳥越 雅人  
東京都豊島区雑司が谷1-52-15  
電話 03-3984-3501

豊田土建株式会社  
代表取締役会長 豊田 剛  
代表取締役社長 豊田 恒行  
東京都世田谷区玉堤1-20-1  
電話 03-3703-0101

株式会社 松下 和正  
代表取締役社長 松下 和正  
東京都文京区本郷1-34-4  
電話 03-3814-6901

松本建設株式会社  
代表取締役 松本 力  
東京都豊島区巢鴨5-41-5  
電話 03-3915-5870

森建設株式会社  
代表取締役 森 栄  
東京都世田谷区用賀3-18-14  
電話 03-3707-3951

山口建設株式会社  
代表取締役 山口 巖  
東京都文京区千石3-29-26-101  
電話 03-3947-3261

株式会社 吉原 組  
代表取締役 鈴木 健之  
東京都練馬区羽沢1-19-9  
電話 03-3993-0126

渡邊建設株式会社  
代表取締役 渡邊 裕之  
東京都豊島区南長崎1-22-16  
電話 03-3951-1161

渡辺建設株式会社  
取締役会長 渡辺 忠司  
代表取締役社長 渡辺 健司  
東京都杉並区高円寺南4-3-3  
電話 03-3310-7671

私たちは、東京、地域の安全・安心社会に貢献しています

専修総合サービス  
代表取締役 藤田 吉之  
東京都北区王子本町2-9-9  
ビュアハウス本町1階  
電話 03-3906-5222

大勝建設株式会社  
東京支店  
常務取締役 支店長 藤岡 康之  
東京都港区芝4-5-12-303  
電話 03-6453-9320

東京機工土木株式会社  
代表取締役 塩野 文夫  
東京都青梅市駒木町3-580-3  
電話 0492-94-1135

株式会社 ナカス  
代表取締役 陳 厚銘  
東京都世田谷区松原2-40-11  
電話 03-3323-1641

株式会社 ニューテック康和  
代表取締役 佐藤 幸一  
東京都北区東田端2-1-3  
電話 03-5692-4825

堀真建設株式会社  
代表取締役 堀口 宗弘  
東京都足立区梅田5-13-19  
電話 03-3607-9191